

樹覚寺門信徒だより

浄土真宗本願寺派 樹覚寺 足利市本城三丁目2055 編集 門徒推進員

***** 浄土真宗生活信条 *****

- 一) み仏の誓いを信じ 尊いみ名をとなへつつ 強く明るく生き抜きます
- 一) み仏の光をあおぎ 常にわが身をかえりみて 感謝のうちに励みます
- 一) み仏の教えに従い 正しい道を聞きわけて まことのみのりをひろめます
- 一) み仏の恵みを喜び 互いにうやまい助けあい 社会のためにつくします

樹覚寺親鸞聖人750回大遠忌法要

宗祖親鸞聖人報恩講法要

如来の作願をたづぬれば、苦惱の衆生をすてずして、
回向を首としたまひて、大悲心をば成就せり。

ただ一度の人生を大切に生きるために、現実を直視する

強さを得るためにまことのお法（みのり）に

耳をかたむけましょう

大遠忌法要・報恩講の行事

10月23日(日)

午後 4時	御伝抄 拝読
午後 5時	おしのぎ…あけし会館
午後 6時	お遠夜法要
	法話：天岸浄圓師

10月24日(月)

午前 6時	晨朝法要
午前 10時	記念法話：天岸浄圓師
正 午	お斎(昼食)…あけし会館
午後 1時	法話：天岸浄圓師
午後 2時30分	御満座法要 御俗抄御文章 拝読

報恩講には、みなでお参りを

『報恩講』は浄土真宗のもっとも重要な法要でございます。

浄土真宗のみ教えを開いて私たちにお示し下さった宗祖親鸞聖人のその御遺徳を
偲び、その御恩に感謝し、お念仏申す門徒の大事な法要でございます。

お一人でも多くのご門徒さんにご聴聞下さいますよう御案内申し上げます。

私たちは、先祖の年忌法要には比較的気を配りますが、その先祖の方々が
心から慕われたのが親鸞聖人であり、また『聖人のみ教えを拠りどころに人生
を歩むように』と私たちに願われているのも先祖の方々です。聖人の御恩を忘れ
るようでは、せっかくの御先祖のご苦勞も水泡に帰してしまいます。

親鸞聖人のご恩に感謝し、聖人がお示しくくださった阿弥陀様の本願を仰いで、
お念仏申す人生を歩むのが門徒です。報恩講はそうした私たち門徒にとって、
何よりの勝縁となる法要なのです。 (仏事イロハより抜粋)

今年は報恩講とともに、樹覚寺の親鸞聖人750回大遠忌法要を

お勤め致します

23日(日)、24日(月)の2日間

《大阪教区 東住吉組 西光寺住職 天岸浄圓師》の

記念法話を頂きます。

仏教壮年会・仏教婦人会 物故者合同法要

8月8日(月) 午後1時30分より本堂に於いて、
第8回壮年会・婦人会合同の物故者追悼法要が開催されました。
壮年会の代表挨拶、献灯・献華、代表焼香がなされ、続いて十二礼作法が勤行されました。

婦人会の敬老会＝台風のため中止

毎年9月8日は、婦人会の敬老会を実施しております。
80歳以上の方が対象ですが、今年は会員皆様の半数の方がその対象になりましたが、
台風のため大雨が懸念されましたので、急遽中止とさせて頂き、御迷惑をおかけいたしました。
心ばかりのものがお送りさせていただきました。
お健やかでありますように！！

境内・墓地等の掃除のお願い

仏教壮年会の年間活動の一環として、新しい年を迎えるにあたり、境内・墓地等の掃除
(落ち葉さらい)を毎年皆様方にご協力いただいております。どのお寺でもそうですが、
秋から冬にかけて落ち葉が境内・墓地に多く散乱します。

ご多忙な時期と思われませんが下記の通り実施致しますので御奉仕のほど
宜しくお願い申し上げます。

期日 : 12月18日(日)

時間 : 午後1時～3時

雨天の場合: 12月23日(金) 午後1時～3時

集合場所 : あけし会館

【ほうき・熊手・ゴミ袋等は、用意しております。】

こうるじっぽう 響流十方法要

毎年9月18日は、東京の千鳥が淵墓苑にて《千鳥が淵全国戦没者追悼法要》が営まれます。樹覚寺でも毎年千鳥が淵へ参拝してまいりましたが、今年からは、足利より「平和の誓いと願い」を多くの方々と共に思いを新たに法要を勤めました。讃仏偈のお勤めの後に、皆様お一人おひとりが心を込めて鐘を撞き、
平和の誓いと願いが十方に響き渡れ（響流十方）との思いをこめて発信しました。

伝灯奉告法要に参加して

10月1日から第25代専如ご門主の伝灯奉告法要が本山で始まりました。法要は、来年5月31日まで10期（I期8日間）にわたり80座が勤められ、多くの方々の参拝が予想されています。10月の第I期の3日から5日のご縁を頂き、参加しました。本願寺の境内は、参拝者用スロープ・手すり付き仮設階段・休憩施設など参拝者への配慮が十分になされ、法要が営まれる阿弥陀堂と御影堂（親鸞聖人の木像が安置されているお堂）には、両堂合わせて約2000席のイスが設備されていました。お堂の御荘厳は浄土を思わせるような煌びやさでした。緊迫感漂う満堂の中、参集の門徒の皆様とともに正信念仏偈・念仏和讃を唱和し、御門主様のお言葉を頂き、ご門主様のこれまでの歩み・前門様のご事績とメッセージを映像で拝見いたしました。日常とは異なる心の安らぎを味わい、貴重なご縁を頂いてまいりました。

右のマークは【専如ご門主の伝灯奉告法要】と【スローガン＝うけつぐ伝灯 伝えるよろこび】をモチーフにしたロゴマークです。「伝」という象形文字の糸を、糸巻きに巻きつける「一つの中心をめぐる」という意味から、人から人へと伝わっていく様子を表現しています。

